



『第45回 定時総会に向けて』

【出席】

榎原 貴仁氏

定時総会実行委員会 委員長
(副代表理事／高松第9支部)
(有エスコートライフ／代表取締役)

【司会】

松原 英樹氏

広報・情報化委員会 副編集長
(高松第7支部)
(有松原製本所／代表取締役)

総会の目的

司会 まず最初にお聞きしたいのですが、定時総会実行委員会の始まりは、何から検討していきまされたか？

榎原 始まりは昨年9月、来年度の総会実行委員長をするにあたり、どんな総会が良いのか？香川同友会とはどんな会なのか？そもそも総会は何のためにするのか？総会の目的を考えました。

「何のためにするのか？」について、ずいぶん話し合いました。その中で出たのが、総会は1年間の活動の集大成であり、今後は1年間こんなことをしますという発表の場である。「昨年に感謝し、今年もよろしく」という初詣のようなもの。リレーのバトンを渡すゴールでありスタートである。分岐点や起点になるものだから、1年間やってきたことを皆でしっかり受け止め、次年度に向けての方針を確認するのが総会ではないか。会社の経営指針の発表会のようなもので、理念があり、ビジョン・方針・計画を発表す

る場所ではないか等、たくさん意見の中で総会の目的を3つに確認しました。

- ① 議案の議決、役員の選出。
- ② 同友会の進む方向を内外に宣言する。
- ③ 会員としてあるべき姿に気づく。

以上の3点が実行委員会で議論を重ねた結果、出てきたものです。

同友会のことをよくわからずに総会に出席した会員さんが、同友会について理解し、目的や意義がわかるような、言い換えればわかりやすい総会です。

司会 榎原さんは今回の総会の実行委員長ですから、先ほどのお話のリレーのバトンを渡す第一走者になるわけですね。

榎原 いえ、そうではありません。私たちも同友会の先輩たちからバトンを渡されてきた者だと思っています。

これまでの香川同友会の先輩が創った歴史を踏まえての1600名だと思えます。香川同友会の組織率は10

パーセントがずっと続いていきます。昨年、中同協の中山幹事長が、「地域で10パーセント以上の組織率になると、地域が変わります」と言っていました。残念ながら香川はそこまで変わっていません。

そこで、地域が変わるとはどういうことなのか。それは、1600名の会員企業が「よい会社」でなければ地域は変わらないということではないかと思っています。

隣の徳島同友会では、これからは会員を増やす段階から地域を良くするために活動する段階にきたと言っています。それは、「よい会社」づくりをしてきたからできる次のステップだと思っわけです。

香川の場合も、本当に「よい会社」づくりに向けての活動がここ数年の動きとしてあります。特に、ここ1年ほどはそれが顕著です。来期の方針にも具体的に盛り込まれています。そんな状況の中だから、今回の総会をもう一度ゼロベースで考え、必要なことはやりましょうということ

す。そういう話し合いの中で前述の3つの総会の目的が出てきたわけです。

司会 よくわかりました。そうすると今回の定時総会はどう

一度原点に戻って、定時総会とは誰のものであり、何のためなのかスタートになったわけですね。

榎原 そうです。そういう話をよくしました。同友会とは何なのか。会員企業は本当に良くなっているのだろうか。等々、いろんな話をする中で、例えば地域の総会や他団体の総会とどこが違うのか。例えば、出席率100パーセントの総会があるが、同友会に関しては400人の申し込みがあっても実際に参加するのはその約半数という現状です。そのあたりを考えると、今回は総会に関しては会費無料、懇親会のみ参加費を頂戴する形式にという話になりました。

榎原貴仁氏

「愛」のある同友会

司会 実行委員会の皆さんの熱意が伝わってくるようなお話でしたが、たしかに誰のためか、定時総会なのか。参加して何か得るものがあるのかどうか。また、自社経営に活かせるものがあるのかどうか。そんなことに繋がるように思います。今回の総会を一言で表現するとどんな言葉になりますか。

榎原 ぴったりの言葉というか、サブスローガンがありません。それは「語り愛のある小さな一流企業を目指して」です。

語り合いの「合い」は「愛」です。「愛の反対語」は「無関心」だと言われます。「愛」と

したことで、会員どうしに関心を持つことが大切だということを示したものです。会員さん同士、会員訪問等で互いに経営の話がちゃんとできていますか。会社の経営が苦しくなったら退会するといふのは、同友会本来の姿ではないと思います。困って大変だから、何とか良くしよう。

頑張つてこんなことに取り組んだらどうか？というのが本来の「愛」のある同友会で。

これを一歩すすめると、同友会の三つの目的のひとつの「よい経営者になろう」も考える必要があります。社内で社員さんと語り合っていますか？悩み事を相談し合っていますか？コミュニケーションがちゃんど取れていますか？本当に「愛」のある関係が築かれていますか？というものです。

年詞会の基調講演の「佰食屋」の中村社長が日本の企業に必要なものは「感謝」と「愛」と述べていました。また、中同協の鋤柄さんのお話にも「愛」が出てきました。要するにお互いに関心を持って向き合っていますか？無関心ではありませんか？社員はもちろんお客さま、会員同士も同様ですが、皆さんは「愛」ある経営者になりましょう。「語り愛、愛のある会社」になりましょうということです。

それから、「小さい一流企業」は、陸前高田市の高田自動車学校の社長の言葉で、小さいけれど光る一流企業になりましょう。何かに抜きん出ているとか、輝くものがある一流企業にというのが、中小企業の強みではないかということ、この言葉を使わせていただきました。来期以降の同友会の方針等に色濃く出てくるようになると思います。

司会 お話はよくわかりますが、ベテラン会員さんの定時総会と新入会員さんにとっての定時総会は何が違うような気がするのですが、いかがでしょうか。とくに新入会員さんには、何をアピールすれば響くのだろうかと考えます。

榎原 たしかにそうです。そういう意味でも今回はスライドで活動報告をするようにしています。これまでは、活動報告の持ち時間が5分程度だったのですが、今年は15〜20分程度を使ってスライドで紹介してもらいます。しかも、わかりやすい表現を心が

けています。

また、方針に関しては持ち時間が30分なので、結構詳細な報告ができると思います。どういうことをやっていくか。また、なぜ今それをやっていくのかを丁寧に説明する予定です。

最後に

司会 ありがとうございます。最後に同友会の会員さんに、総会に向けてのメッセージをお願いします。

榎原 香川同友会とは、どんなところなのか。何なのかをぜひとも見に来ていただきたいと思います。今まで思っていた同友会とは少し違いかもありません。その違いをぜひ

確かめに来て頂きたいと思います。

そうすれば、新たに感じるものがあるはず。皆さんの会社が良くなるはず。今年の総会は「愛」があります。

司会 「愛」のある総会ということでお話を終わらせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。



松原英樹氏

（追記）

コロナ対策を踏まえての総会開催へ

実は、以上のインタビュアーは3月中旬に取材したもので、まだまだ新型コロナウイルスが猛威を振るつてない状況でした。現在の状況に伴い、追記させて頂きます。

4月中旬現在では、香川県でも日に日に感染者数が増えている状況で、大きく経営環境は変わりました。飲食関係も相当な影響がでています。その中で先日4月13日同友会より次のような方針が出ました。

「命と地域経済を守る3か月間」の香川同友会の活動
第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議をふまえた方針

政府は、改正新型コロナウイルスエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を4月7日に発令しました。本日（4/14）における香川県下の

「新型コロナウイルス」による感染者は20名となり、香川県知事による「香川県緊急事態」宣言が発出されました。この宣言の期間において、香川同友会は「原則、全ての会議は自粛又は延期」を原則とすることにしました。定時総会もテレビ会議システム（Zoom）を利用した特別な開催とせざるを得ない状況となりました。

「戦後最大の危機」とまで言われる状況となりました。また、中同協広浜会長談話でも強調されているように「今回のショックは、日本で感染が収束しても、世界規模での大きなダメージから長く経済が低迷することが想定」されています。

3月23日、正副代表理事会名で発表した「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大と当面の対応について」は、県下の感染状況の認識は、「感染経路が追えなくな

る時期（国内感染期）」には至っておらず、「国内発生の早期段階」の『最終版』最終盤、つまり「レベル1」の『最終盤』の時期」と評価するとともに、「レベル2」で対応することとしました。

このような状況下で4月2日に、香川同友会の活動のあり方について「第1回新型コロナウイルス感染症対策本部」を開催しました。

本部会議では、「地域を守る」「生きる・暮らしを守る」、人間らしく生きる」という同友会運動の人間尊重的経営の立場から「命を守る」の見地で、当面の3か月の活動をすすめることが重要だと確認しました。この期間は、「命と地域経済を守る3か月間」として特別な対応をおこなっています。確認したことは、次のとおりです。

①当面、6月末までの3か月間の活動は、次の基準にとする。

- (1) 全ての会合は、10人以下での開催とする。
- (2) 高齢者や持病のハイリスクの



※写真はインタビュー時のものです。

方は、いったん感染すると肺が炎症し酸素吸入ができなくなるなど重篤化の傾向があるとされている。このことを配慮して、70歳前後の方と持病のある方については、ご自身の意思に基づきWeb会議システムを使い参加してもらおう。

(3)この措置は、3か月の期間の推移をみながら、機動的に見直しをする。

②当面、各支部に1つのZoom (Web会議システム) のアカウントを取得する。

(1)この措置は、10名以下での実参加に加えて、システムを利用して会内のコミュニケーションを旺盛に広げることが目的である。

(2)利用については、不慣れな方も多いことを考慮して、活用方法のレクチャーをする。

③この時期にこそ求められる「小グループ活動」「会員訪問」「声かけ」の推進。

最大の問題は、新型コロナウイルスに感染・発症するリスクもあるが、「根拠無く過大



な恐怖心からかれて、人と会うことを忌み嫌い、結果、社会的なつながりを自ら断ち切る「心の死」を招き、健康にも、経済にも悪影響を及ぼすことである。全ての支部、委員会が、感染対策に留意し、Web会議システムの活用など、知恵と工夫を発揮して、10人以下の「小グループ活動」や「会員訪問」「声かけ」の取組みを推進する。

④「経営相談室」を軸に専門家の力の発揮を重視する。

企業における影響の現れは、業界によって異なるが、今後、全業種に影響が広がる事が予測される。「財務計画の見直し」「資金の確保」や

「雇用の維持」をめぐる専門的な相談支援の体制整備が重要である。

⑤「政策委員会」による政策提言の第二弾の実施をする。

現下の状況をふまえた国と自治体の効果的な中小企業支援策について提言をまとめ実施することを確認した。

当面の6月末までの3か月間の措置として、上記方針を確認しました。以上のような状況の中で会員の安全を守るために、総会全体を大幅に縮小した第一部総会のみを少数開催する事にしました。

この同友かがわ本紙が会員皆さんの所に届くころには、

新型コロナウイルスの状況はさらに大きく変わっていると思います。毎日のように感染者が増えているこの経営環境の中でも、その時々で、今、同友会が出来る事を今やる。運動・活動が止まらないように。

今回は会員皆様のご理解を頂きながら、現時点では縮小開催の方向ですが、次の総会へ向けていろんなこと託せる総会になると思います。Zoomのご参加、お待ちしております。

定時総会実行委員会

委員長 榎原 貴仁 / 記

※4月13日、香川県独自に緊急事態宣言が発出されました。それに伴い、香川同友会の対応をレベル3(原則、全ての会議は自粛又は延期)に移行せざるを得ない状況だと判断し、人が集まるための会議は現在開催していない状況です。Zoomを利用したコミュニケーションの場合(支部・委員会・グループ会等)を積極的に設定していますので、是非ご参加ください。緊急事態宣言の解除等により、対応変更が実施される場合は随時edcom等で周知いたしますので最新の情報をご確認ください。